

マイノリティ・ アーカイブズの 構築・研究・発信



立命館大学生存学研究センターは「障老病異」を基軸として、当事者の活動に関する資料のアーカイブ化と研究交流・社会連携活動を実施してきました。そこから展開して、アーカイブをめぐる技術的・著作権法的问题から立場性・倫理の問題まで議論するシンポジウム「マイノリティ・アーカイブズの構築・研究・発信」を開催いたします。広くマイノリティの視点からアーカイブ研究の新しい方向性—管理・保存の技術に留まらない人文科学的な問題化—を目指しています。皆様のご参加をお待ちしています。

2018.12.1(土) 10:30
18:45

立命館大学 衣笠キャンパス
創思館 1階 カンファレンスルーム

アクセス (<http://www.ritsume.ac.jp/accessmap/kinugasa/>)

参加費無料
当日参加可能

* 資料準備などの都合上、可能な限り、参加される方は下記メールアドレスに事前にお名前と人数をご一報ください。

* 情報アクセス保障については、11月20日までにご連絡ください。

PROGRAM

10:00	開場
10:30 - 10:50	立岩 真也 立命館大学・先端総合学術研究科教授 生存学研究センター・センター長 立命館大学生存学研究センターによる アーカイビング
さがす・あつめる	
10:50 - 11:15	安岡 健一 大阪大学 「声」を継ぐ： 飯田市歴史研究所でのオーラルヒストリーから
11:15 - 11:40	塚原 東吾 神戸大学 過去の災害をどう探るか？： 古気候記録の収集・分析と市民科学の試み
11:40 - 12:00	総合討論
12:00 - 13:30	書庫内覧・ポスターセッション・成果物展示・軽食

たもつ・つたえる	
13:30 - 13:55	長坂俊成 一般社団法人協働プラットフォーム 代表理事/立命館大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授 311まるごとアーカイブ ～当事者によるアーカイブと支援～
13:55 - 14:20	谷合佳代子 公益財団法人大阪社会運動協会 エル・ライブラリー/大阪産業労働資料館館長 エル・ライブラリーのアーカイブズ —収集から活用まで

14:20 - 14:45	高木 恒一 立命館大学・社会学部 教授 立命館大学共生社会研究センター副センター長 立命館大学共生社会研究センターの経験から
14:45 - 15:05	総合討論
15:05 - 15:15	休憩
15:15 - 15:40	藤吉 圭二 追手門学院大学・社会学部 アーカイブズ—アカウンタビリティを越えて—
15:40 - 16:05	青山 薫 神戸大学・国際文化学研究所 UK質的データアーカイブの設立経緯とその後
16:05 - 16:30	宮脇 正晴 立命館大学・法学部 孤児作品と著作権
16:30 - 16:50	総合討論
16:50 - 17:00	休憩

つかう・いかす	
17:00 - 17:25	田中 聡 立命館大学文学部 地域研究学域 京都学専攻 京都地域資料のアーカイブ構築
17:25 - 17:50	利光 恵子 立命館大学 生存学研究センター 客員研究員 優生保護法のもとでの強制不妊手術と公文書
17:50 - 18:15	河村 宏 NPO法人支援技術開発機構副理事長 アーカイブのアクセシビリティとインクルーシブな社会
18:15 - 18:35	総合討論
18:35 - 18:45	閉会の挨拶

上記スケジュールは、予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催：立命館大学 生存学研究センター

【お問い合わせ先】 立命館大学生存学研究センター事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL:075-465-8475 FAX:075-465-8245 E-mail:ars-vive@st.ritsume.ac.jp



本シンポジウム
詳細ページはこちら